

みやのじょう男女共同参画プラン

基本理念～^{みんな}男女が協働して創る健康で楽しい社会

男女が互いに人権を尊重しつつ責任を分かち合い、性別にかかわらずその個性と能力を発揮する「男女共同参画社会」の実現は21世紀の最重要課題の一つとなっていますが、宮之城町民は「男女共同参画」についてどのような考え方を持っているのでしょうか。10年度に宮之城町が実施した「宮之城町男女共同参画に関する意識調査」の結果を基に、今回は、「高齢者などに対する健康づくりと福祉の充実」についての現状、課題を見てみましょう。

◇基本目標4 健康づくりと福祉の向上

重点項目2 高齢者などに対する健康づくりと福祉の充実

○現状と課題

高齢化が急速に進行するなか、寝たきり老人などの介護は主に女性が担っており大きな負担がかかっている現状です。

また、心身障害者も増加傾向にあり、そのうちで高齢者の占める割合も高くなってきています。

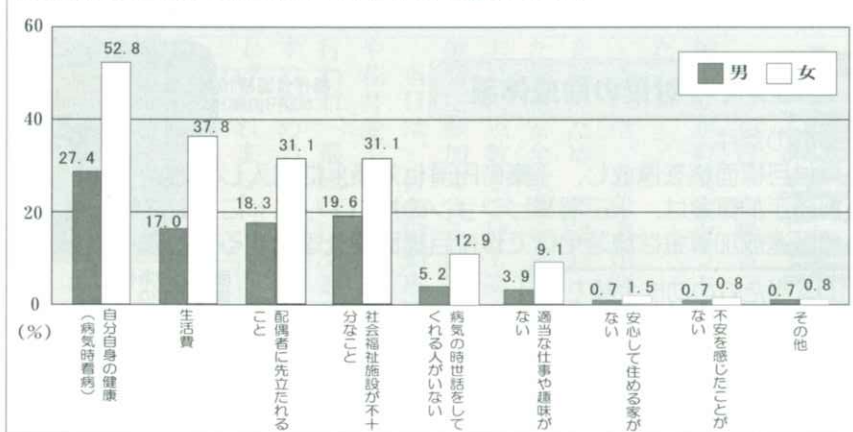
なお、高齢者などが人生を安心して過ごすためには経済基盤の確立が重要であり、生涯を通じた就労の場や再就職の場、さらには老後の年金などの社会保障の確保が必要であります。

男女共同参画に関する意識調査によると、老後にどのような心配ごとや不安を感じますかと聞いたところ、男女とも「自分自身の健康」が一番不安を抱いており、次いで女性では「生活費」、男性では「福祉施設が不十分なこと」となっており、老後の生活には何らかの不安を持っています。

このようなことから、今後は介護を社会全体で支える仕組みである介護保険制度をより一層の定着のため、制度の普及啓発を図りながら、各関係機関との連携を強化し、円滑で適正な運営に努め、家族による介護負担の軽減を図っていく必要があります。

さらに、高齢者などが日常、社会とのつながりを保ち続けることが重要であり、このため養ってきた経験や能力・技術などを社会に貢献する機会を充実し、社会参画を促進するとともに、地域で生活しやすい環境をソフト・ハード面から整備していく必要があります。

○老後にどのような心配ごとや不安を感じますか



(宮之城町男女共同参画に関する意識調査)

施策の方向

◆高齢者などの社会参画と

いきがい対策の推進

高齢者などが、家庭、地域、職場など社会の各分野において能力を十分発揮し、いきがいを持って暮らせるよう社会参画の機会の提供や環境の整備に努めます。

また、高齢者が自己の知恵・技術・労働力を活用し、生涯現役で活躍できる仕組みと環境づくりを進めます。

【事業内容】

- ・町民楽習運動の推進
- ・シニアリーダーの育成と活用
- ・シルバー人材センターの活動促進
- ・老人クラブの育成と活動の促進
- ・障害者の社会参加への支援
- ・ボランティア活動の推進
- ・年金に関する相談の充実

